

令和5年度「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）」  
成果報告シンポジウム 開催報告

- ・主催：地震・火山噴火予知研究協議会
- ・共催：東京大学地震研究所，京都大学防災研究所
- ・後援：文部科学省，防災科学技術研究所，海洋研究開発機構，産業技術総合研究所地質調査総合センター，国土地理院，気象庁，海上保安庁，日本地震学会，日本火山学会，日本測地学会
  
- ・日時：令和6年3月13日（水）～3月14日（木）
- ・場所：東京大学弥生講堂[一条ホール・アネックス] /  
Zoom 中継（口頭発表のみ）
  
- ・参加者数：358名（内現地参加 228名）
- ・懇親会参加人数：55名
- ・内容：別添プログラム参照、予知協ホームページ参照  
<https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/YOTIKYO/ex/H31-R5/R5/symposium.html>

※今回も、学生が本研究計画の実施目的や現状を理解する機会とするため、学生の旅費支援募集を行い、6件の申し込みがあり支援した。参加後「成果報告シンポジウムで興味を持ったこと・印象に残ったこと」についてレポート提出をしてもらった。

# 令和5年度「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）」成果報告シンポジウム

プログラム(2024.03.11版)

主催：地震・火山噴火予知研究協議会

共催：東京大学地震研究所、京都大学防災研究所

後援：文部科学省、防災科学技術研究所、海洋研究開発機構、産業技術総合研究所地質調査総合センター、

国土地理院、気象庁、海上保安庁、日本地震学会、日本火山学会、日本測地学会

日時：2024年3月13日(水) 10:00 ~ 3月14日(木) 18:35

場所：東京大学弥生講堂[一条ホール・アネックス] / Zoom 中継

※ 現地参加者を含め参加登録必要。

## 3月13日(水)口頭1(部会サマリー): zoom中継

10:00 - 10:20	主催者・来賓挨拶		0:20
		地震・火山噴火予知研究協議会 文部科学省研究開発局 地震調査研究推進本部 地震火山観測研究計画部会	議長・谷岡勇市郎 (00:05) 地震・防災研究課長・郷家康徳 (00:05) 地震調査委員会委員長・平田直 (00:05) 部会長・日野亮太 (00:05)
10:20 - 10:30	観測研究計画概要		0:10
	・ 討論		予知戦略室長・西村太志 (00:08) (00:02)
10:30 - 10:55	トピックス報告		0:25
	・ トピックス1: 能登半島地震		京大防災研・宮澤理稔 (00:10)
	・ トピックス2: トルコの地震		東大地震研・加藤愛太郎 (00:10)
	・ 討論		(00:05)
● 現行計画5年間の成果報告			
10:55 - 11:25	計画推進部会報告: 地震(現象解明)		0:30
	・ 部会サマリー		東大地震研・飯高隆 (00:25)
	・ 討論		(00:05)
11:25 - 11:55	計画推進部会報告: 史料・考古		0:30
	・ 部会サマリー	東北大・災害研 蝦名裕一、奈良文化財研究所・村田泰輔	(00:25)
	・ 討論		(00:05)
11:55 - 12:25	計画推進部会報告: 地震(中短期予測)		0:30
	・ 部会サマリー		東大地震研・中谷正生 (00:25)
	・ 討論		(00:05)
12:25 - 13:40	( 昼休み )		1:15
13:40 - 14:10	計画推進部会報告: 火山		0:30
	・ 部会サマリー		京大防災研・中道治久 (00:25)
	・ 討論		(00:05)
14:10 - 14:40	計画推進部会報告: 災害誘因評価・即時予測		0:30
	・ 部会サマリー		東北大・太田雄策 (00:25)
	・ 討論		(00:05)
14:40 - 15:10	計画推進部会報告: 防災リテラシー		0:30
	・ 部会サマリー		名大・高橋 誠 (00:10)
	防災リテラシー向上のための情報技術活用		富山大・井ノ口宗成 (00:15)
	・ 討論		(00:05)
15:10 - 15:25	( 休憩 )		0:15
15:25 - 15:55	計画推進部会報告: 観測研究基盤		0:30
	・ 部会サマリー		東大地震研・鶴岡 弘 (00:08)
	MOWLAS運用とN-net整備		防災科学技術研究所・高橋 成美 (00:09)
	南海トラフ広域の浅部ゆっくり滑りのリアルタイム把握のため海底孔内観測網の整備へ		海洋研究開発機構・荒木 英一郎 (00:09)
	・ 討論		(00:04)
15:55 - 16:10	総合研究グループ報告: 高リスク小規模火山噴火		0:15
	・ グループサマリー		東大地震研・大湊隆雄 (00:10)
	・ 討論		(00:05)
16:10 - 16:25	総合討論		0:15
	・ 総合討論		予知戦略室長・西村太志 (00:15)
16:25 - 16:45	( 休憩 )		0:20
16:45 - 18:15	ポスターセッション1		1:30
	( 移動 )		0:10
18:30 - 20:00	懇談会		1:30

3月14日(木)口頭2(グループサマリー・次期建議計画について):ハイブリッド開催

9:00 - 9:15	総合研究グループ報告: 首都直下地震 ・ グループサマリー ・ 討論	東大地震研・ 酒井慎一	0:15 (00:10) (00:05)
9:15 - 9:30	総合研究グループ報告: 千島海溝沿いの巨大地震 ・ グループサマリー ・ 討論	北大・ 高橋浩晃	0:15 (00:10) (00:05)
9:30 - 9:45	総合研究グループ報告: 南海トラフ沿いの巨大地震 ・ グループサマリー ・ 討論	京大防災研・ 伊藤喜宏	0:15 (00:10) (00:05)
9:45 - 10:00	( 休憩 )		0:15
10:00 - 10:15	総合研究グループ報告: 桜島大規模火山噴火 ・ グループサマリー ・ 討論	京大防災研・ 井口正人	0:15 (00:10) (00:05)
10:15 - 10:45	計画推進部会報告: 地震( 長期予測 ) ・ 部会サマリー ・ 討論	京大防災研・ 西村卓也	0:30 (00:25) (00:05)
10:45 - 11:05	東京大学地震研究所・ 京都大学防災研究所 拠点間連携共同研究 ・ サマリー ・ 討論	京大防災研・ 松島信一	0:20 (00:15) (00:05)
11:05 - 11:20	総合討論 ・ 総合討論	予知協戦略室長・ 西村太志	0:15 (00:15)
11:20 - 12:40	ポスターセッション 2 ( 昼休み )		1:20 0:40
13:20 - 14:35	次期計画へ向けて ・ 現行計画のまとめ ・ 地震本部の総合基本施策について ・ 火山観測研究を取り巻く状況 ・ 次期計画の概要説明 ・ 討論	企画部長 大湊隆雄 地震本部・ 平田 直 火山本部準備会・ 清水洋 予知協戦略室員・ 橋本武志・ 宮澤理絵	1:15 (00:15) (00:15) (00:15) (00:20) (00:10)
14:35 - 14:45	( 休憩 )		0:10
14:45 - 16:39	各分野における次期5カ年の実施計画内容( 戦略室・ 部会 ) ・ 戦略室の方針説明 ・ 地震( 現象説明 ) 準備会 ・ 地震( 長期予測 ) 準備会 ・ 地震( 中短期予測 ) ・ 火山 ・ 災害誘因評価・ 即時予測 ・ 防災リテラシー ・ 史料・ 考古 ・ 観測研究基盤	予知協戦略室長・ 西村太志 東大地震研・ 望月公廣 京大防災研・ 西村卓也 立命館大学・ 川方裕則 東北大・ 山本 希 東北大・ 太田雄策 名大・ 高橋 誠 東北大災害研・ 蝦名 裕一 東大地震研・ 鶴岡 弘	1:54 (00:10) (00:13) (00:13) (00:13) (00:13) (00:13) (00:13) (00:13) (00:13) (00:13)
16:39 - 16:50	( 休憩 )		0:11
16:50 - 18:33	各分野における次期5カ年の実施計画内容( 拠点間連携・ 総合研究G ) ・ 拠点間連携共同研究 ・ 南海トラフ沿いの巨大地震 ・ 首都直下地震 ・ 千島海溝沿いの巨大地震 ・ 内陸で発生する被害地震 ・ 大規模火山噴火 ・ 高リスク小規模火山噴火 ・ 討論	京大防災研・ 松島信一 京大防災研・ 伊藤喜宏 東大地震研・ 加藤愛太郎 北大・ 高橋浩晃 東北大・ 岡田知己 京大防災研・ 中道治久 東工大・ 寺田暁彦	1:43 (00:13) (00:10) (00:10) (00:10) (00:10) (00:10) (00:10) (00:30)
18:33 - 18:35	閉会の挨拶	予知協議長・ 谷岡勇市郎	(00:02)

令和5年度成果報告シンポジウム ポスター発表プログラム(20240307案)

※パネルのサイズは縦115cm×横85cmです。パネル下に脚パイプが付きます。

1日目 3月13日(水) 弥生講堂 一条ホール (16:45-18:15予定)				
ポスター番号	課題番号	研究課題名	機関名	担当者名
<b>地震(現象説明)部会</b>				
P1-01	DPRI01	津波生成過程の理解に向けた浅部スロー地震の活動様式・発生場の解明とモデル化	京都大学防災研究所	伊藤喜宏
P1-02	DPRI03	内陸地震の発生機構と発生場の解明とモデル化	京都大学防災研究所	宮澤理稔
P1-03	DPRI04	日本列島の地震-火山噴火の基本場解明:地殻とマントルにおける応力、流体-マグマ、温度・流動-変形場	京都大学防災研究所	深畑幸俊
P1-04	ERI_08	日本・NZ国際協力によるヒクランギ沈み込み帯における多様な地震活動と、その発生環境との関係の解明	東京大学地震研究所	望月公廣
P1-05	ERI_23	海底での地震・地殻変動観測に向けた機動的観測技術の高度化	東京大学地震研究所	塩原肇
P1-06	ERI_04	非線形動力学・計算材料科学との学際連携に基づく地震現象の多様性の統一的理解	東京大学地震研究所	亀伸樹
P1-20	ERI_05	千島海溝・日本海溝における複合海底地震測地観測によるプレート境界の挙動解明とそのモデル化	東京大学地震研究所	篠原雅尚
P1-07	ERI_09	内陸地震発生ポテンシャルの予測を目指した島弧の地殻応答と断層における地殻内流体の影響の解明	東京大学地震研究所	飯高隆
P1-10	ERI_15	首都圏の地震被害分布と地震像の解明	東京大学地震研究所	酒井慎一
P1-11	ERI_10	東日本における長期的重力変化の観測とモデリング	東京大学地震研究所	今西祐一
P1-49	ERI_06	より現実的な断層面ダイナミクス	東京大学地震研究所	中谷正生
P1-14	HRS_01	東北日本弧・千島弧会合部とその周辺における地震発生場の解明	弘前大学理工学研究所	前田拓人
P1-13	IRID02	GPS-A観測による効率的な上下変動検出技術の開発と根室沖観測への適用	東北大学災害科学国際研究所	木戸元之
P1-12	KGSM01	南西諸島北部域におけるプレート間すべりの特性に関する地震・地殻変動観測研究	鹿児島大学	八木原寛
P1-15	KYU_01	地震火山相互作用下の内陸地震空間ポテンシャル評価	九州大学	相澤広記
P1-16	RTM_01	南アフリカ大深度金鉱山からの地震発生場における応力と物質の直接調査	立命館大学	小笠原宏
P1-17	THK_01	国際共同研究によるニュージーランドにおける地震発生機構の解明	東北大学	岡田知己
P1-18	THK_07	地殻応答による断層への応力載荷過程と断層間相互作用の解明と予測	東北大学	岡田知己
P1-21	THK_02	流体の寄与に注目した地震断層すべり物理モデルの高度化	東北大学	松澤暢
P1-22	THK_05	世界各地の大地震発生域との比較研究に基づく地震・火山現象の理解	東北大学	趙大麟 (代理:豊国源知)
P1-24	THK_06	スラブ内地震の発生メカニズムに関する研究	東北大学	東龍介
P1-25	AORI01	巨大津波を引き起こす震源断層の実態解明と流体変動モニタリング	東京大学大気海洋研究所	朴進午 (代理:千凡YU FAN)
P1-26	UTS_03	地震発生場のテクニクスとマルチスケール地震現象の予測可能性	東京大学理学系研究科	井出哲
P1-27	UTS_02	大地震に伴う粘弾性余変動の解明	東京大学理学系研究科	田中愛幸
P1-28	UTS_04	地殻流体の化学的観測による地震火山活動評価システムの高度化と応用	東京大学理学系研究科	角森史昭
P1-29	AIST05	地質調査と実験に基づく、断層の力学挙動についての三次元モデルの構築	産業技術総合研究所	重松紀生
P1-30	JAMS02	海底広域変動観測研究	海洋研究開発機構	藤江剛
P1-31	AIST07	高分解能地殻応力場の解明と造構造場の研究	産業技術総合研究所	今西和俊
P1-32	GSI_01	内陸の地殻活動の発生・準備過程の解明	国土地理院	宗包浩志
P1-33	JCG_03	海底地殻変動観測	海上保安庁	石川直史
P1-34	KOBO19	東京海洋大学練習船での海底地殻変動観測	東京海洋大学・学術研究院	中東和夫
<b>地震(長期予測)部会</b>				
P1-19	ERI_11	地震発生予測のための島弧-海溝システムの観測-モデリング統合研究	東京大学地震研究所	篠原雅尚
P1-37	HKD_01	津波堆積物情報の高度化と実践的活用に関する研究	北海道大学	西村裕一
P1-38	UTS_01	沿岸巨礫を用いた古津波評価法の検討:南海トラフ~琉球海溝の連動可能性評価に向けて	東京大学理学系研究科	後藤和久 (代理:中田光紀)
P1-39	NGY_02/04	南西諸島海溝におけるプレート間固着状態の解明 / 南海トラフ域におけるプレート間固着・滑りの時空間変化の把握	名古屋大学	田所敬一
P1-40	NGY_03/05	変動地形学的手法による内陸地震発生モデルと活断層長期評価手法の再検討 / 地表地震断層の特性を重視した断層近傍の強震動ハザード評価	名古屋大学	鈴木康弘 (代理:松多信尚 [岡山大学])
P1-36	UTS_05	物理モデルと地形・地質学およびテクニクスな観測データを統合した地震発生長期予測手法の開発と検証	東京大学理学系研究科	安藤亮輔
P1-41	JAMS01	地震発生帯モデリング研究	海洋研究開発機構	堀高峰
P1-42	NIED03	大地震による潜在的ハザードの把握に関する研究	防災科学技術研究所	齊藤竜彦
P1-43	NIED02	地震・津波予測技術の戦略的強化研究	防災科学技術研究所	汐見勝彦
P1-44	AIST08/04	海溝型大地震の履歴とメカニズム解明 / 津波浸水履歴情報の整備	産業技術総合研究所	澤井祐紀
P1-45	AIST01	活断層データベースの整備	産業技術総合研究所	吾妻崇
P1-46	AIST02	主要活断層帯から生じる連動型地震の古地震学的研究	産業技術総合研究所	近藤久雄
P1-47	GSI_02	プレート境界面上の滑りと固着の時空間変化の広域的な把握	国土地理院	宗包浩志
<b>地震(中短期予測)部会</b>				
P1-51	CBA_01	電磁気学的な地震先行現象の総合的研究	千葉大学	服部克巳
P1-52	ERI_12	スロー地震モニタリングに基づく南海トラフ域の地震発生可能性評価手法に関する研究	東京大学地震研究所	蔵下英司
P1-50	ERI_13	経験的アプローチによる大地震の確率予測のパフォーマンス調査	東京大学地震研究所	中谷正生
P1-53	KUS_01	地殻活動データの同化による沈み込みプレート境界面すべり予測に関する研究	京都大学理学研究科	宮崎真一
P1-54	RTM_02	地震に先行する極微小な前震活動の異常度評価と発生環境の評価	立命館大学	川方裕則
P1-55	THK_09/13	繰り返し地震再来特性の理解に基づく地殻活動モニタリング / 地震・火山データの無線伝送技術の開発	東北大学	内田直希
P1-56	THK_10	地殻変動に伴う大気中ラドン濃度変動	東北大学	長濱裕幸
P1-57	AIST09	地下水・地殻変動観測による地震予測精度の向上	産業技術総合研究所	松本則夫
P1-58	JMA_01	地震活動・地殻変動監視の高度化に関する研究	気象庁	露木貴裕
P1-59	KOBO30	Web情報から探る地震震などの宏観異常現象と地震との関係	東京学芸大学教育学部	織原 義明
P1-60	KOBO31	地震先行VLF帯電磁波強度減少研究のための超小型衛星:Preludeのフライトモデル開発	日本大学理工学部	山崎 政彦 (代理:鴨川仁)
<b>その他</b>				
P1-08	CTOC42	地震ハザードにおける地下構造の影響の定量的評価の研究	東大情報学環/ 地震研究所	飯高隆
P1-35	CTOC43	コミュニティ断層モデルの試作	東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻	安藤亮輔

1日目 3月13日(水) 弥生講堂 アネックス (16:45-18:15 予定)				
ポスター番号	課題番号	研究課題名	機関名	担当者名
<b>災害誘因評価・即時予測部会</b>				
P1-104	DPRI08	広帯域強震動予測の高度化に関する研究	京都大学防災研究所	関口春子
P1-106	DPRI09	断層破壊過程と極大強震動生成に関する研究	京都大学防災研究所	岩田知孝
P1-107	DPRI10	火山地域を含む地震地すべり発生場の評価と斜面における強震動及び不安定化の事前予測手法の展開	京都大学防災研究所	土井一生
P1-108	DPRI11	火砕流の発生と流下予測	京都大学防災研究所	為栗健
P1-109	ERI 14	大規模数値シミュレーションに基づく広帯域強震動災害の事前・即時予測	東京大学地震研究所	古村孝志
P1-110	ERI 16	堆積平野・堆積盆地における地震災害発生機構の解明	東京大学地震研究所	三宅弘恵
P1-111	HKD 05	巨大地震に伴う海底斜面崩壊による津波の事前評価・即時予測に関する研究	北海道大学	谷岡勇市郎
P1-114	HKD 06	火山活動即時解析表示システムの開発	北海道大学	橋本武志
P1-103	HRS 02	データ同化に基づく津波現況把握と即時予測の高度化	弘前大学理工学研究科	前田拓人
P1-115	III_01	ニーズ・アセスメントに基づく地震・火山災害に関する発生確率、被害想定、災害情報のコミュニケーション戦略の開発	東京大学情報学環	関谷直也
P1-116	IRID03	地表設置型合成開口レーダ(GB-SAR)による地表変位計測の高精度化	東北大学災害科学国際研究所	森口周二 (代理: 泉佑太 [室蘭工業大学])
P1-117	IRID04	地震の事前情報を起点とするハザード事象系統樹の開発	東北大学災害科学国際研究所	福島洋
P1-118	THK_12	海陸測地データを活用したプレート境界面すべり即時把握能力の向上とそれにもとづく津波即時推定手法の高度化	東北大学	太田雄策
P1-119	TTR 01	地方自治体の地震被害想定、災害リスク評価を高度化するための基盤整備	鳥取大学	香川敬生
P1-122	HRO 02	津波による最大リスク評価手法の開発と防災対策の実証的展開	北海道立総合研究機構	仁科健二
P1-125	JMA 06	地震動・津波即時予測の高度化に関する研究	気象庁	林豊
P1-126	JMA 07	火山噴出物の監視技術とデータ同化に基づく輸送予測に関する研究	気象庁	新堀敏基
<b>拠点間連携(重点推進研究)</b>				
P1-124	CTOC31	地震および豪雨による斜面災害発生個所の事前予測方法の統合	京都大学防災研究所	齊藤 隆志
P1-127	CTOC41	巨大地震・津波を起因とする火災リスク評価の高度化	京都大学防災研究所	西野智研
<b>拠点間連携(一般課題型研究)</b>				
P1-129	CTOC34	桜島大規模噴火による大量軽石火山灰降下に対する事前広域避難に向けた実践的研究	京都大学防災研究所	大西正光
P1-130	CTOC38	リスクコミュニケーションを推進するための地震・火山災害に関する意識調査の標準的な質問紙設計とその有効性の検証	山梨大学大学院総合研究部工学域	秦康範
P1-131	CTOC39	1923年関東地震の木造建物被害率に基づく震源破壊プロセスの解明	京都大学防災研究所	伊藤恵理
P1-132	CTOC44	確率論的津波漂流物評価手法構築に向けた数値的検討	海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 津波高潮研究グループ	千田優
P1-133	CTOC45	地盤と建物特性を考慮した建物被害分析と後発地震への応答予報モデルの構築	京都大学防災研究所	倉田真宏
P1-123	CTOC46	土砂災害のサイレントキラーとなる地震による地表変状の研究 2022年12月31日山形県鶴岡市西目の斜面崩壊に与えた2019年山形県沖地震の影響評価	京都大学防災研究所	齊藤隆志
P1-134	CTOC47	社会の要請に基づく首都圏における災害の誘因予測のための官民連携のフレーム検討・構築	防災科学技術研究所 地震減災実験研究部門 (兵庫耐震工学研究センター)	田端憲太郎
P1-135	CTOC48	長寿命化改修を実施した高経年建物の被害把握のための地盤と建物の地震観測に関する基礎的検討	千葉大学 大学院工学研究院	中村友紀子

ポスター数 27 (アネックス 最大ポスター数46枚)

2日目 3月14日(木) 弥生講堂 一条ホール (11:20-12:40 予定)

ポスター番号	課題番号	研究課題名	機関名	担当者名
<b>火山部会</b>				
P2-17	DPRI06	インドネシアの活動的火山における火山活動推移モデルの構築	京都大学防災研究所	井口正人
P2-18	DPRI07/13	桜島火山における火山活動推移モデルの構築による火山噴火予測のための総合的観測研究 / 桜島火山における地域との連携による火山災害に関する社会の共通理解醸成のための研究	京都大学防災研究所	中道治久
P2-19	ERI 02	マグマ溜まりの時間発展と噴火様式との関連性	東京大学地震研究所	安田敦
P2-20	ERI 20	光技術を用いた地下深部・火山近傍における地震・地殻変動計測技術の確立	東京大学地震研究所	新谷昌人
P2-21	ERI 21	高精度ミュオグラフィ画像自動診断による火山活動状況の推移との相関評価	東京大学地震研究所	田中宏幸
P2-22	ERI 07	多項目観測データの比較研究に基づく噴火過程の理解とモデル構築	東京大学地震研究所	大湊隆雄
P2-23	ERI 03	大規模噴火に伴う諸現象とそれを駆動するマグマ溜り—火道システムの解明	東京大学地震研究所	前野深
P2-24	ERI 17	堆積物に基づく噴火物理化学パラメータ推定手法の高度化と事象分岐判断への活用	東京大学地震研究所	前野深
P2-25	HKD 04	電磁気・熱・ガス観測に基づく火山活動推移モデルの構築	北海道大学	橋本武志
P2-26	HKD 02	大規模噴火に関わるマグマプロセスの時間スケールの解明	北海道大学	栗谷豪
P2-27	HKD 03	マグマ脱ガス実験と火山噴出物の揮発性成分解析に基づく噴火分岐メカニズムの解明	北海道大学	吉村俊平
P2-28	KOBE01	鬼界海底カルデラにおけるマグマ供給系の構造・進化の解明	神戸大学海洋底探査センター	島伸和 (代理:金子克哉)
P2-16	KUS 02	地震・地殻変動モニタリングによる中期的な火山活動の評価	京都大学理学研究科	大倉敬宏
P2-29	THK 03	噴火発生時刻の即時把握と噴火ダイナミクスの研究	東北大学	西村太志
P2-31	THK 04	浅部貫入マグマの結晶化速度と噴火挙動の推定手法の開発	東北大学	中村美千彦
P2-32	THK 08	集中地震観測による火山体構造・火山現象発生場の解明	東北大学	山本希
P2-30	THK 11	多項目観測データに基づく火山活動のモデル化と活動分岐判断指標の作成	東北大学	西村太志
P2-33	TIT 03	水蒸気噴火の準備過程を捉えるための火山熱水系構造モデルの精緻化	東京工業大学	寺田曉彦
P2-35	TIT 01	海城火山活動に伴う熱水活動の実験的研究と観測研究	東京工業大学	野上健治
P2-36	TIT 02	小型拡散放出二酸化炭素率測定装置の開発	東京工業大学	野上健治
P2-34	AORI02	地球物理・化学的探査による海底火山および海底熱水活動の調査	東京大学大気海洋研究所	小畑元
P2-37	TYM 01	小規模噴火を含めた草津白根火山の噴火履歴の解明と噴火ポテンシャル評価	富山大学	石崎泰男
P2-38	TYM 02	富山県弥生原火山における地球物理学的観測による火山活動モニタリング	富山大学	堀田耕平
P2-39	UTS 06	遠隔地火山、特に離島火山における火山ガスモニタリングの高度化	東京大学理学系研究科	森 俊哉
P2-40	AIST03	地質調査に基づく火山活動履歴の解明と年代測定手法の高度化	産業技術総合研究所	古川竜太
P2-41	NIED01	多角的火山活動評価に関する研究	防災科学技術研究所	藤田英輔
P2-42	AIST06	火山性流体観測に基づく噴火発生過程および火山活動推移の解明	産業技術総合研究所	松島喜雄
P2-43	JAMS03	海底火山観測研究	海洋研究開発機構	小野重明 (代理:田中聡)
P2-44	AIST10	噴出物の物質科学的解析に基づくマグマ供給系-火道システム発達と噴火推移過程のモデル化	産業技術総合研究所	下司信夫
P2-45	GSJ 03	火山地域のマグマ供給系のモデリング	国土地理院	宗沼浩志
P2-46	JMA 02	地殻変動観測等に基づく火山活動評価の高度化に関する研究	気象庁	鬼澤真也
P2-47	JMA_03/08/12/15	火山活動に伴う地殻変動の把握及び評価 / 火山活動の総合判断 / 全国における火山観測の強化 / 火山現象に関する基礎データの蓄積と活用	気象庁	碓井勇二/若生勝
P2-48	JMA 04	地球電磁気学的手法による火山活動評価の高度化	気象庁	藤原善明
P2-49	JMA 05	化学的手法に基づく火山活動監視・予測に関する研究	気象庁	坂井孝行
P2-50	HRO 01	北海道内の活火山の地球物理学的・地球化学的モニタリング	北海道立総合研究機構	高橋良
P2-51	MFR101	富士山の事象系統樹を精緻化するための噴火履歴の研究	山梨県富士山科学研究所	吉本充宏
P2-52	JCG 04	海城火山観測	海上保安庁	高梨泰宏
P2-53	MFR102	火山モニタリングと地下水流動把握のための多点連続重力観測	山梨県富士山科学研究所	本多亮
P2-54	KOBO21	石基組織から読み解く北海道摩周火山の噴火推移過程	兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科	佐野恭平
P2-55	KOBO23	阿蘇中岳火山灰の岩石磁気的性質の時系列変化に関する研究	熊本大学・大学院先端科学研究部	望月伸竜
P2-56	KOBO27	水蒸気噴火を起こす火山の活動把握:火山ガス・火口湖水・温泉水等の化学分析に基づく地球化学的アプローチ	東海大学理学部	大場武
P2-57	KOBO28	火山活動推移における分岐の要因の解明:蔵王山、過去約800年間の噴出物の事例研究	山形大学理学部	伴雅雄
P2-58	KOBO29	蔵王・御釜と鳴子・湯沼における地下熱水系の動的変動に関する比較研究	北海道大学理学部	知北和久
P2-59	KOBO32	北海道摩周周辺の火山活動と災害ポテンシャルに関する地球化学的観測研究	富山大学学術研究部理理学系	鹿兒島涉悟
<b>防災リテラシー部会</b>				
P2-14	DPRI14	災害リテラシーの育成のためのオープンサイエンス手法の検討	京都大学防災研究所	矢守克也 (代理:岡田夏美)
P2-13	HKD 07	地理空間情報の総合的活用による災害への社会的脆弱性克服に関する人間科学研究	北海道大学	橋本雄一
P2-12	HYG 01	地震・火山観測データを活用した減災・復興モデルの構築とリスクコミュニケーションに資する事例収集	兵庫県立大学	阪本真由美
P2-11	HYG 02	地震観測研究の成果を活用した土地利用に係る事例収集に基づく枠組みの提案	兵庫県立大学	澤田雅浩
P2-10	IRID06	災害に関わる個人の心理・行動特性とその評価・活用・調整に関する研究	東北大学災害科学国際研究所	杉浦元亮
P2-15	KUS 03	阿蘇で学ぶ地震・火山災害への備え	京都大学理学研究科	大倉敬宏
P2-09	NGT 02	地震・火山噴火災害における被害軽減のために活用可能な要素・知識体系の整理・検証	新潟大学	田村圭子
P2-08	NGY 06	被害の地域的な発現過程とコミュニティの社会・空間構造に着目した地震・津波災害発生機構に関する文理融合的研究	名古屋大学	室井研二
P2-07	NGY 07	御嶽山地域の防災力向上の総合的推進に関する研究	名古屋大学	山岡耕春
P2-06	TYM 03	地震学・火山学の知見に基づくコンパクトシティをデザインする情報科学からの被災生活シミュレーション	富山大学	井ノ口宗成
P2-05	UTH 02	近代以前の地震・火山災害に関する多角的な研究	東京大学史料編纂所	杉森玲子
P2-04	NIED04	自然災害ハザード・リスク評価と情報の利活用に関する研究	防災科学技術研究所	中村洋光
P2-03	JMA_16/17	地震・津波・火山防災情報の改善に係る知見・成果の共有 / 防災・減災に関する知識の普及啓発	気象庁	今村翔太
<b>その他</b>				
P2-02	DPRI02	南海トラフ巨大地震の予測高度化を目指したフィリピン海スラブ周辺域での総合的観測研究	京都大学防災研究所	澁谷拓郎
P2-01	DPRI12	噴火後の土石流および泥流の発生に関する観測と予測手法の開発	京都大学防災研究所	竹林洋史

2日目 3月14日(木) 弥生講堂 アネックス (11:20-12:40 予定)				
ポスター番号	課題番号	研究課題名	機関名	担当者名
<b>史料・考古部会</b>				
P2-110	ERI 01	歴史地震史料を活用した地震学的解析	東京大学地震研究所	加納靖之
P2-101	HMEV01	地震火山関連史料に基づく低頻度大規模地震火山災害の調査	東京大学地震火山史料連携研究機構	大邑潤三
P2-102	IRID01/05	東北地方における地震・津波・火山情報に関する歴史資料の所在調査とデータ収集 / 歴史地形の復元・可視化手法の確立と災害発生要因の分析	東北大学災害科学国際研究所	蝦名裕一
P2-103	NGT 01	日本海沿岸地域を中心とした地震・火山現象の解明のための史料収集と解析	新潟大学	片桐昭彦
P2-107	NGY_01	古文書解読による南海トラフ巨大歴史地震像の解明 ~ 歴史地震情報の可視化システムの構築とその活用 ~	名古屋大学	山中佳子
P2-106	NAB_01	考古・文献資料からみた歴史災害情報の収集とデータベース構築・公開ならびにその地質考古学的解析	奈良文化財研究所埋蔵文化財センター	村田泰輔
P2-105	UTH 01	地震火山関連史料の収集・分析とデータベースの構築・公開	東京大学史料編纂所	及川亘
P2-104	KOBO33	歴史時代の地震活動解析に向けた有感記録の完全性・均質性の検討	地震予知総合研究振興会地震調査研究センター	石辺岳男
<b>観測研究基盤部会</b>				
P2-111	ERI 22	海底ケーブルを用いる地震・地殻変動・津波リアルタイム観測技術開発	東京大学地震研究所	篠原雅尚
P2-109	ERI 18	観測研究データへの永続的識別子付与	東京大学地震研究所	加納靖之
P2-112	ERI 24	マルチプラットフォーム次世代WINシステムの開発	東京大学地震研究所	中川茂樹
P2-119	ERI 19	データ流通網の高度化	東京大学地震研究所	鶴岡弘
P2-113	HKD 08	地殻変動等多項目データの全国流通一元化公開解析システムの高度化	北海道大学	高橋浩晃
P2-117	KOC 02	地震波形データ流通のための、新WIN伝送プロトコルの検討・開発	高知大学	大久保慎人
P2-118	KOC 01	地震動観測点観測環境の時間変化把握に向けた、解析手法の検討・開発	高知大学	大久保慎人
P2-108	NGY 08	小電力・小型・携帯テレメータ地震観測装置の改良開発	名古屋大学	山中佳子
P2-114	NICT01	先端リモートセンシングによる地震及び火山の被害状況把握技術の高度化	情報通信研究機構	児島正一郎
P2-115	NIED05	基盤的観測網の運用	防災科学技術研究所	青井真
P2-116	AIST11	アジア太平洋地域地震・火山ハザード情報整備	産業技術総合研究所	宝田晋治 (代理: 古川竜太)
P2-121	GSI 04	GNSS連続観測(GEONET)	国土地理院	宗包浩志
P2-122	GSI 05	地形地殻変動観測	国土地理院	宗包浩志
P2-123	GSI 06	物理測地観測	国土地理院	宗包浩志
P2-124	GSI 07	宇宙測地技術による地殻変動監視	国土地理院	宗包浩志
P2-125	GSI 08	GNSS観測・解析技術の高度化	国土地理院	宗包浩志
P2-126	GSI 09	全国活断層帯情報整備	国土地理院	宗包浩志
P2-127	GSI 10	火山基本図・火山土地条件図整備	国土地理院	宗包浩志
P2-128	GSI 11	地殻活動データベース整備・更新	国土地理院	宗包浩志
P2-129	JMA 13	地磁気観測成果のデータベース化	気象庁	谷口秀隆
P2-130	JMA 14	全国地震カタログの作成	気象庁	森脇健
P2-131	JMA 09	地震観測・地殻変動観測	気象庁	下山利浩
P2-133	JMA 10	潮位観測	気象庁	鈴木博樹
P2-134	JMA 11	地磁気精密観測	気象庁	仰木淳平
P2-132	JCG_01/JCG_02	海洋測地の推進/ 検潮	海上保安庁	三枝隼/ 林王弘道 (代理: 石川直史)
P2-136	KOBO25	GNSS-A海底測地観測データの高精度化に向けた精度評価システムの構築	東京大学・生産技術研究所	横田 裕輔
<b>その他(戦略室対応課題)</b>				
P2-120	ERI 25	研究成果共有データベースの構築	東京大学地震研究所	鶴岡弘
<b>その他</b>				
P2-135	CTOC32	巨大地震に起因するマルチハザードによるリスク評価手法に関する検討	京都大学防災研究所	宝田晋治 (代理: 古川竜太)
P2-137	CTOC35	活断層により形成される盆地端部構造と歴史地震の被害分布との関係に関する研究	京都大学防災研究所	松島信一
P2-138	CTOC40	既存在来木造建物に大きな被害を引き起こす地震動の発生要因に関する研究	京都大学防災研究所	境有紀
P2-139	HMEV02	地震関連史料に基づく近代以前の地震活動の調査	東京大学地震火山史料連携研究機構	佐竹健治
P2-140	DPRI05	測地観測データに基づく内陸地震長期評価手法の開発	京都大学防災研究所	西村卓也

ポスター数 40 (アネックス 最大ポスター数46枚)